

SAMPLE | 金額・年齢・家族構成はすべて架空です

外貨建保険 ファイナンシャルプラン表

家計全体の中で、損や見落としを減らすための判断材料を見える形にします。

相談テーマ	外貨建保険の契約・見直し相談	ご家族（架空）	夫 42 歳・妻 40 歳・子ども 2 人（10 歳・7 歳）
実現したいこと	教育費を確保しながら、老後まで家計の余力を残す	現在の金融資産	預貯金 650 万円／投資資産 180 万円

家族とお金の見通し

単位：万円／年（残高のみ万円） ※税金・社会保険料を差し引いた手取り収入で表示

年	年齢 夫・妻	家族の予定	手取り収入	基本生活費	教育・特別支出	相談テーマ費	年間収支	金融資産残高
2026	42・40	現在	720	420	120	36	+144	830
2030	46・44	高校・中学	700	440	190	36	+34	1,020
2035	51・49	大学・高校	660	460	250	36	-86	850
2040	56・54	教育費終了	620	470	90	36	+24	900
2045	61・59	退職準備	540	450	60	36	-6	880

この表から判断できること

01 外貨で増えていても、円へ戻す為替と手数料で受取額は変わります。	02 2035 年に教育費で使うなら、その時点で円高でも不足しないかを確認します。	03 続ける・解約するを、円で受け取れる額と家計の必要時期で比べます。
------------------------------------	---	-------------------------------------

数値は見本です。実際のプラン表は、相談者の資料と希望を確認して作成します。将来の収支や運用成果を保証するものではありません。

テーマ別の判断プラン

外貨建保険を、円で使う時期まで含めてどうするか

家計の見通しと相談資料の数字を重ね、選択肢ごとの影響を比べます。

為替の想定	円での受取額	教育費との差	判断
1 ドル=120 円	480 万円	120 万円不足	円高でも使える別資金が必要
1 ドル=145 円	580 万円	20 万円不足	手数料控除後の額を確認
1 ドル=165 円	660 万円	60 万円余る	円安だけを前提に決めない

次に取る 3 つの行動

STEP 1 現在解約した場合の外貨額・円換算額・差し引かれる費用を確認する。	STEP 2 お金を円で使う年と必要額を決め、円高時の不足額を出す。	STEP 3 不足を預貯金で補えるか確認し、続ける・解約するを判断する。
---	--	--

相談後に手元に残るもの

この 2 ページのファイナンシャルプラン表を原則 2 営業日以内に送ります。家計全体を見ながら、契約する・続ける・見直す・専門家へ確認するのどれを選ぶか、自分で判断できます。

この見本だけでは 決められないこと	将来の為替、円で受け取る額、今やめた場合に返るお金、税金は断定できません。円高・円安の両方で判断できる数字を残します。
----------------------	---

運営：スペシャリスト・ドクターズ株式会社（保険代理店）

60 分の相談とファイナンシャルプラン表は、相談者の費用負担 0 円です。運営費は、提携する金融機関から受け取る手数料でまかなっています。

この PDF は表示例です。氏名・契約番号・会社名・金額はすべて架空です。個別の税務・法務判断は、税理士・弁護士・司法書士等へご確認ください。